

消費者啓発に関する取り組み

代表者 人間文化研究科 教授 伊藤恭彦

連絡先 itou@hum.nagoya-cu.ac.jp

連携・協力者 名古屋市市民経済局

ポイント

学生ならではの視点で消費者教育・啓発を行っています

1 概要

- ・若者の視点やアイデアにより消費者問題について効果的な普及啓発を図ることを目的に、消費者啓発に関する事業を名古屋市市民経済局から受託して実施しています。
- ・人文社会学部の伊藤恭彦ゼミの学生が、平成26年度から啓発リーフレットの作成や、名古屋市消費生活フェアやなごやHAPPYタウン（27年度～29年度）において、ブース出展やステージ発表を行っています。

2 活動内容

- ・30年度は、食料廃棄物のリサイクルを行うバイオプラザを見学し、食料問題の現状等について学び、その成果として、食料廃棄の現状を分かりやすく訴える子ども向けのリーフレット「ちょっと待って捨てちゃうの!？」を作成しました。
- ・30年11月10日(土)にオアシス21で開催された名古屋市消費生活フェアにブース出展し、調査研究の結果をまとめた展示ポスターを作成して展示しました。
- ・食料の大切さや私たちにできることなどについて考えてもらうため、子どもたちとオリジナル・ドギーバックの制作を行いました。
- ・研究成果と活動成果を学内でも発信し、ゴミ減量啓発のポスターを滝子キャンパスに掲示しました。



ドギーバックづくりの様子

3 成果

- ・作成したリーフレットは、名古屋市消費生活フェアで市民の方に配布したほか、本学オープンキャンパスでは高校生に、ゼミ説明会では名市大生に配布しました。
- ・また、約100人の子どもたちがドギーバックづくりに参加しました。
- ・研究成果・活動成果を愛知学長懇話会主催第6回サステナビリティ・リレーシンポジウムで発表しました。